２０１８年度安威川ダム基礎岩盤面観察・評価業務委託
２０２２年１月３１日納品予定

業 務 内 容 仕 様 書

第１章　業務内容

１．計画準備

業務の実施にあたり「業務目的」「主旨」「現地の状況」「過年度業務等の成果、設計図書」等を把握するとともに、文献ならびに既往資料の収集、検討を行い、調査計画を立案する。

なお、本業務はダムの安定性、遮水性を確保する上で非常に重要な検討であることから「ボーリングコア」「柱状図」等を把握し、ダム全体の水理地質構造、止水対策等を十分踏まえたうえで、実施すること。

※既往資料として下記の報告書を収集する。

「ダム調査費（単）安威川地質調査業務委託」
「安威川ダムダムサイト地質・透水試験調査委託」
「安威川ダムダムサイト地質調査業務委託（昭和 50 年度）」
「安威川ダムダムサイト地質調査業務委託（昭和 57 年度）」
「安威川ダムダムサイト地質調査業務委託（その２）」
「安威川ダムダムサイト技術調査業務委託」
「安威川ダム工事用道路等地質調査委託」
「ダムサイト技術調査業務委託（その２）」
「ダムサイト技術調査業務委託（その５）」
「ダムサイト技術調査業務委託（その６）」
「ダムサイト技術調査業務委託（その７）」
「ダムサイト地質調査業務委託」
「安威川ダム洪水吐地質調査業務委託（その２）」
「安威川ダム 実施設計及び施工計画設計業務委託」
「平成 24 年度安威川ダム岩盤評価検討委託」
「安威川ダム本体工事施工計画等作成委託」
「安威川ダム仮排水トンネル掘削面評価委託」
「安威川ダムダムサイト基礎岩盤面観察・評価業務委託」
「安威川ダムダムサイト基礎岩盤面観察・評価業務委託（Ｈ２８）」
「安威川ダムダムサイト基礎岩盤面観察・評価業務委託（Ｈ２９）」

２．岩盤スケッチ

①　基礎岩盤面観察

コア・フィルター敷きおよびロック敷き等の基礎岩盤面の観察を実施する。

現地において基礎岩盤面の「地質構成」「地質構造」「岩盤状況」「割れ目の風化の状況」等を観察・確認して岩盤スケッチおよび写真撮影を行い、地質情報を収集・整理する。実施するスケッチ対象箇所及び縮尺は以下のとおりとする。

なお、コア・フィルター敷きについては過年度発注業務で実施した、粗掘削面での岩盤面観察結果を参考に仕上げ掘削面での基礎岩盤面観察を実施すること。

①　コア・フィルター敷き（仕上げ掘削面）　：　縮尺＝１／２００
②　ロック敷き　：　縮尺＝１／５００
③　洪水吐き部　：　縮尺＝１／２００
④　周辺法面部　：　縮尺＝１／５００

②　基礎岩盤面図作成

岩種分布、岩級分布および岩盤劣化部の連続性、岩盤の透水性などの観察結果を参考に、「地質図」「岩級区分図」「岩盤透水性区分図（コア・フィルター敷きのみ)」を作成する。

・掘削面地質平面図：縮尺=基礎岩盤面観察参照
・掘削面岩級区分図：縮尺=基礎岩盤面観察参照
・岩盤透水性区分図：縮尺=基礎岩盤面観察参照
・地質断面図　　：縮尺=1/500
・岩級区分断面図　：縮尺=1/500
・岩盤透水性区分断面図：縮尺=1/500（コア・フィルター敷きのみ)

３．基礎岩盤の解析・評価

実施設計に用いた地質資料等の既存資料との相違を比較するなど、基礎岩盤の諸性状が設計段階で想定していた状況と合致しているか否かを解析し、地質工学的に満足する基礎岩盤面を提案する。

また、解析結果を踏まえ基礎処理の変更等について検討し、仕上げ掘削に際しての留意点を提言する。

４．本体設計検討

基礎岩盤面や岩盤透水性の変更に伴い、「基礎掘削」「盛立」「基礎処理」の施工計画や、数量、図面、積算資料を修正する。なお、修正は以下の内容を想定している。

①　基礎掘削工

基礎岩盤面の変更に伴う、施工計画、積算資料、図面、数量、運土計画等の修正

② 盛立工

基礎岩盤面の変更に伴い生じる、盛立工および材料採取工の施工計画、積算資料、図面、数量、運土計画等の修正業務として下記業務内容を予定している。

③ その他関連工種

現在の施工状況を踏まえ、当初想定より変更がある工種の施工計画、積算資料、図面、数量の修正を行う。なお、施工計画及び積算資料の修正はダム積算の解説を適用している工種に限る。

５．報告書作成

本業務で整理・解析・検討した資料、数量計算書、図面等を共通仕様書第 1211 条設計業務の成果に準じて報告書を作成するものとする。

第２章　その他

本業務で実施する下記箇所の基礎岩盤面観察結果については、基礎岩盤の強度及び形状がダムの基礎として適合しているかどうかを確認する「地盤検査」に諮るものとする。なお、本業務受注者は当該検査資料を作成し検査に同席するものとする。

【地盤検査　受検箇所】

① コア・フィルター敷き（全域）

② ロック敷き　　（全域）

③ 洪水吐き部　　（流入部・導流部・シュート部）